

さいたま市立内谷中学校

学校だより



第442号 平成29年11月1日

〒336-0034 さいたま市南区内谷6-10-1 ☎ 048-861-7571 <http://uchiya-j.saitama-city.ed.jp>

「継承すべきもの」 一実りを実感 3年生の姿—

校長 山浦 麻紀



カエデ (紅葉)
花言葉・「美しい変化」

10月は、続けて発生した台風の影響により、荒天続きでしたが、終盤になって秋らしい爽やかな天候に落ち着いてきました。春に種をまき、夏のエネルギーを蓄え、立派に成長した食物などを収穫する季節です。学校においても多くの成果を収穫できた(発表・結果を出す)10月でした。特に、3年生は、1、2年生の経験や知識を踏まえ、「中学生はここまで成熟することができる。」ことを下級生に示してくれました。

10月初旬の新人大会では、ソフトボール部の準優勝をはじめ、多くの部活動が素晴らしい成果を収めてくれました。応援をされていて強く感じたことは、最後まであきらめない粘り強さとチームワークが素晴らしいということでした。惜しくも実力を発揮しきれなかった部活でも、その姿勢は変わりませんでした。これは、学校総合大会の時にも感じたことです。良き上級生を見て、下級生は追いつき、追い越そうと努力します。1、2年生もこれから内谷中の伝統を受け継ぎ、目標とされる先輩になってくれることでしょう。このように、よい伝統が引き継がれることは本当に素敵なことだと思います。

10月25日(水)に駒場運動競技場に於いて男子60校、女子60校の参加のもと市内駅伝競走大会が開催されました。本校は、1・2・3年生で構成された学校代表の選手が朝も夕も練習に励み、本番でも襷(たすき)を必死で繋いでくれました。彼らの自らを鍛え上げる強さ、周囲への感謝を示す人としての美しい姿勢は来年度もしっかりと受け継いでくれることでしょう。

10月26日（木）つぼみの日には、学区内の各小学生6年生の皆さんが元気に訪ねてきてくれました。本校生徒が小学生に中学校生活への期待を膨らませてもらおうと、中学校生活の様子を劇で紹介したり、部活動を楽しく実演したりしました。これもまた良き伝統です。

そして、10月30日（月）には埼玉会館で合唱祭がおこなわれ、生徒のみなさんの心の絆が伝わる素晴らしい演奏を聴くことができました。どの学年も立派な見事な合唱でした。特に3年生は「3年生になるとここまでうまく歌えるようになるのか」と次々と感動の涙がこみあげる素晴らしいものでした。まさに、～レジェンド 内谷中合唱祭～ でした。また、ご来場いただきました保護者の皆様には、保護者席への御協力、そして暖かい御声援をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

2学期は体育祭から始まり、新人大会・合唱祭・つぼみの日・駅伝大会と休む間もなく行事が続きましたが、生徒のみなさんはそれぞれの学年にふさわしい成果をあげてくれました。また、先輩方から引き継いだ伝統を守り、進化させてくれています。この姿はこれからもずっと引き継がれていくことでしょう。内谷中の伝統に感謝です。

例年より早くインフルエンザが流行している様子です。体調管理と予防に心がけてください。